

全国建設労働組合総連合 御中

既存全建総連会館 アスベスト調査

結果報告書

2024年10月

株式会社 中沢工業

< 目 次 >

1. 調查概要
2. 分析結果報告書
3. 採取写真
4. 資格証

1. 調 査 概 要

1	件名	既存全建総連会館 アスベスト調査
2	住所	東京都新宿区高田馬場2丁目7-15
3	調査日	2024 年 10 月 28 日
4	調査機関	株式会社 中沢工業 東京都大田区北嶺町 4-11 2F TEL 03-6421-8920 調査者 飯高 俊文 一般建築物石綿含有建材調査者 (神奈川 1 第 12091053 号・日本環境衛生センター)
5	分析機関	株式会社 EFAラボラトリーズ 東京都千代田区神田神保町2-2-31 ヒューリック神保町ビル 3F TEL 03-3263-6055 分析者 宮川 聖史
6	調査内容	現地目視調査、既存資料等に記載されたアスベストを含有する可能性がある建材、または、既存資料等に記載が確認されなかったが、現地目視により確認されたアスベストを含有する可能性がある建材について、その使用箇所、状態等を調査することにした。 現地目視調査によりアスベスト含有の可能性がある建材の使用が確認され、採取可能な状況である建材は、必要に応じて分析試料の採取を行うこととした。 現地調査時に試料採取した建材は、アスベスト含有の有無を確認するために、株式会社 EFAラボラトリーズに依頼し、分析を実施した。分析レポートについては分析結果報告書を参照とする。
7	調査結果	本調査におけるアスベスト含有建材の調査結果は分析結果一覧、報告書のとおりである。 調査の際、既存図と現地調査時で改修工事等で部屋名に相違があった為本調査では既存図に合わせた。
8	調査統括	・外壁の仕上げ塗装材については、東西南北面で同色同仕上げ塗装材であった為、1面にて採取とした。 ・屋上は既存資料記載の塗膜防水からウレタン防水に変更されていたが採取対象とした。 ・4階ボイラー機械室は倉庫に改修変更されており、設備配管保温材等は確認されなかった。 ・2階空調機械室は改修変更されており、空調ダクトパッキン材等は確認されなかった。 ・2階和室は改修変更されており、じゅうらく壁等は確認されなかった。 ・1階事務室床はカーペットタイル下に既存資料記載のPタイルが確認された為、採取とした。 ・1階事務室天井はうずしおボードから岩綿吸音板に変更されていたが、採取対象とした。 ・1階浴室天井はフレキシブルボードが確認されたがみなし含有と判断した。 ・外部西側外壁サイディング材が確認されたがみなし含有と判断した。 今後、解体・改修等を行う際に当該調査以外でアスベストが含有されている可能性がある建材が発見された場合は、その作業を一旦中止し含有調査者等有資格者の判断により適正に調査・分析の上、撤去を行なってください。

分析結果一覧

アスベストの分析結果について、以下の通り報告します。

採取者 飯高 俊文
分析者 宮川 聖史
分析方法 定性分析 JIS A 1481-1

No	採取場所	試料名	アスベスト の有無	アスベスト の種類	定量分析 の実地	アスベスト 含有量
1	R階	ウレタン防水材	無	-	-	-
2	4階ボイラー機械室	煙突断熱材	有	Amo	-	-
3	4階電気室	ロックウールボード天井材	無	-	-	-
4	2階廊下	内壁仕上り塗装材(プラスター赤)	有	ch	-	-
5	2階会議室	天井吹付材(パーミックス)	無	-	-	-
6	1階事務室	床材(Vタイル)	有	ch	-	-
7	1階事務室	天井材(岩綿吸音板)	無	-	-	-
8	1階廊下	ソフト巾木	無	-	-	-
9	1階廊下	内壁仕上り塗装材(プラスター白)	有	ch	-	-
10	1階玄関	内壁仕上り塗装材(白セメント)	無	-	-	-
11	階段室	床長尺シート	有	ch	-	-
12	外部	外壁仕上り塗装材	無	-	-	-
※	1階浴室	天井フレキ板	みなし	-	-	-
※	外部	外壁サイディング材	みなし	-	-	-

アスベストの種類は次の通りとする。

ch:クリソタイル、Amo:アモサイト、Cro:クロシドライト、Tre:トレモライト、Act:アクチノライト、Ant、アンソフィライト

2.分析結果報告書

2024年10月31日

全国建設労働組合総連合 御中



ISO/IEC 17025試験所認定取得
(NVLAPコード500068-0)
作業環境測定機関(登録番号13-93)

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町2-2-31
ヒューリック神保町ビル3F
TEL:03-3263-6055
URL:<https://efa.co.jp>

アスベスト分析結果報告書

(JIS A1481-1 / ISO 22262-1 偏光顕微鏡による定性分析法)

既存全建総連会館 アスベスト調査

建材中のアスベスト定性分析 結果一覧表
(JIS A1481-1 / ISO 22262-1 偏光顕微鏡による定性分析法)

全国建設労働組合総連合 御中

レポート番号: B201210 -v2
サンプル到着日: 2024年10月28日
分析結果報告日: 2024年10月31日
分析調査者: 宮川聖史

件名: 既存全建総連会館 アスベスト調査

Job ID:21230

試料全体中のアスベスト含有量:「不検出」「微量に検出」「0.1超-5%以下」「5%超-50%以下」「50%超-100%」の5段階で表記。
※「微量に検出」はアスベストが微量に検出され、非意図的混入が疑われるか、アスベスト含有量が0.1%以下の可能性がある場合。
アスベスト種類:CH=クリソタイル、AM=アモサイト、CR=クロシドライト、TR=トリモライトアスベスト、AC=アクチノライトアスベスト、AN=アンソフィライトアスベスト

試料番号	試料名称	アスベスト種類	試料全体中の アスベスト含有量
①	RF 屋上 ウレタン防水材	-	不検出
②	4F ボイラー機械室 煙突断熱材	AM	5 - 50%
③	4F 電気室 ロックウールボード 天井材	-	不検出
④	2F 廊下 内壁 仕上塗装材(プラスター赤)	CH	0.1 - 5%
⑤	2F 会議室 天井 吹付材(パーミックス)	-	不検出
⑥	1F 事務室 床材(Vタイル)	CH	0.1 - 5%
⑦	1F 事務室 天井材(岩綿吸音板)	-	不検出
⑧	1F 廊下 ソフト巾木	-	不検出
⑨	1F 廊下 内壁 仕上塗装材(プラスター白)	CH	0.1 - 5%
⑩	1F 玄関 内壁 仕上塗装材(白セメント)	-	不検出
⑪	階段室 床 長尺シート	CH	0.1 - 5%
⑫	外壁仕上塗装材	-	不検出

建材中のアスベスト定性分析 層別詳細結果
(JIS A1481-1 / ISO 22262-1 偏光顕微鏡による定性分析法)

全国建設労働組合総連合 御中

レポート番号: B201210 -v2
サンプル到着日: 2024年10月28日
サンプル分析日: 2024年10月30日
分析結果報告日: 2024年10月31日
一次分析者: 五島真由子
分析調査者: 宮川聖史

件名: 既存全建総連会館 アスベスト調査

Job ID:21230

JIS A 1481-1 / ISO 22262-1で規定されたアスベスト含有量の表記:「不検出」「微量に検出」「0.1%超-5%以下」「5%超-50%以下」「50%超-100%」。
「微量に検出※」はアスベストが微量に検出され、非意図的混入が疑われるか、アスベスト含有量が0.1%以下の可能性がある場合。
トレモライト※はトレモライトアスベスト、アクチノライト※はアクチノライトアスベスト、アンソフィライト※はアンソフィライトアスベスト。

試料番号	試料名称	ラボ番号
①	RF 屋上 ウレタン防水材	20005427

試料全体中のアスベスト含有量: 不検出

<層別分析詳細>

層番号	層構成 比率	層の外観	アスベストの種類 層におけるアスベスト含有量範囲(目視評価による参考アスベスト含有量)
(裏側/躯体側)			
1	20%	グレー 非繊維状 素材	不検出
2	20%	濃い グレー 非繊維状 素材	不検出
3	5%	白 織物状 素材	不検出
4	50%	グレー 非繊維状 素材	不検出
5	5%	薄い グレー 塗料	不検出

(表側)

前処理法: ほぐし, 灰化
非アスベスト繊維成分: 合成繊維

試料採取日: 2024年10月28日

建材中のアスベスト定性分析 層別詳細結果
(JIS A1481-1 / ISO 22262-1 偏光顕微鏡による定性分析法)

全国建設労働組合総連合 御中

レポート番号: B201210 -v2
サンプル到着日: 2024年10月28日
サンプル分析日: 2024年10月30日
分析結果報告日: 2024年10月31日
一次分析者: 五島真由子
分析調査者: 宮川聖史

件名: 既存全建総連会館 アスベスト調査

Job ID:21230

JIS A 1481-1 / ISO 22262-1で規定されたアスベスト含有量の表記:「不検出」「微量に検出」「0.1%超-5%以下」「5%超-50%以下」「50%超-100%」。
「微量に検出※」はアスベストが微量に検出され、非意図的混入が疑われるか、アスベスト含有量が0.1%以下の可能性がある場合。
トレモライト※はトレモライトアスベスト、アクチノライト※はアクチノライトアスベスト、アンソフィライト※はアンソフィライトアスベスト。

試料番号	試料名称	ラボ番号
②	4F ボイラー機械室 煙突断熱材	20005428

試料全体中のアスベスト含有量: アモサイト 5%超-50%以下

<層別分析詳細>

層番号	層構成 比率	層の外観	アスベストの種類 層におけるアスベスト含有量範囲(目視評価による参考アスベスト含有量)
(裏側/躯体側)			
1	100%	オフホワイト 半繊維状 素材	アモサイト 5%超50%以下(7%)

(表側)

前処理法: ほぐし
非アスベスト繊維成分: セルロース, 人造鉱物繊維(非晶質)

試料採取日: 2024年10月28日

建材中のアスベスト定性分析 層別詳細結果
(JIS A1481-1 / ISO 22262-1 偏光顕微鏡による定性分析法)

全国建設労働組合総連合 御中

レポート番号: B201210 -v2
サンプル到着日: 2024年10月28日
サンプル分析日: 2024年10月30日
分析結果報告日: 2024年10月31日
一次分析者: 五島真由子
分析調査者: 宮川聖史

件名: 既存全建総連会館 アスベスト調査

Job ID:21230

JIS A 1481-1 / ISO 22262-1で規定されたアスベスト含有量の表記:「不検出」「微量に検出」「0.1%超-5%以下」「5%超-50%以下」「50%超-100%」。
「微量に検出※」はアスベストが微量に検出され、非意図的混入が疑われるか、アスベスト含有量が0.1%以下の可能性がある場合。
トレモライト※はトレモライトアスベスト、アクチノライト※はアクチノライトアスベスト、アンソフィライト※はアンソフィライトアスベスト。

試料番号	試料名称	ラボ番号
③	4F 電気室 ロックウールボード 天井材	20005429

試料全体中のアスベスト含有量: 不検出

<層別分析詳細>

層番号	層構成 比率	層の外観	アスベストの種類 層におけるアスベスト含有量範囲(目視評価による参考アスベスト含有量)
(裏側/躯体側)			
1	1%	グレー セメント質 素材	不検出
2	99%	黄褐色 繊維状 素材	不検出
(表側)			

前処理法: ほぐし, すりつぶし

非アスベスト繊維成分: 人造鉱物繊維(非晶質)

試料採取日: 2024年10月28日

建材中のアスベスト定性分析 層別詳細結果
(JIS A1481-1 / ISO 22262-1 偏光顕微鏡による定性分析法)

全国建設労働組合総連合 御中

レポート番号: B201210 -v2
サンプル到着日: 2024年10月28日
サンプル分析日: 2024年10月30日
分析結果報告日: 2024年10月31日
一次分析者: 五島真由子
分析調査者: 宮川聖史

件名: 既存全建総連会館 アスベスト調査

Job ID:21230

JIS A 1481-1 / ISO 22262-1で規定されたアスベスト含有量の表記:「不検出」「微量に検出」「0.1%超-5%以下」「5%超-50%以下」「50%超-100%」。
「微量に検出※」はアスベストが微量に検出され、非意図的混入が疑われるか、アスベスト含有量が0.1%以下の可能性がある場合。
トレモライト※はトレモライトアスベスト、アクチノライト※はアクチノライトアスベスト、アンソフィライト※はアンソフィライトアスベスト。

試料番号	試料名称	ラボ番号
④	2F 廊下 内壁 仕上塗装材(プラスター赤)	20005430

試料全体中のアスベスト含有量: クリソタイル 0.1%超-5%以下

<層別分析詳細>

層番号	層構成 比率	層の外観	アスベストの種類 層におけるアスベスト含有量範囲(目視評価による参考アスベスト含有量)
(裏側/躯体側)			
1	20%	グレー セメント質 素材	クリソタイル 0.1%超5%以下(2%)
2	80%	多層 塗料	不検出

(表側)

前処理法: ほぐし, すりつぶし
非アスベスト繊維成分:

試料採取日: 2024年10月28日

建材中のアスベスト定性分析 層別詳細結果
(JIS A1481-1 / ISO 22262-1 偏光顕微鏡による定性分析法)

全国建設労働組合総連合 御中

レポート番号: B201210 -v2
サンプル到着日: 2024年10月28日
サンプル分析日: 2024年10月30日
分析結果報告日: 2024年10月31日
一次分析者: 五島真由子
分析調査者: 宮川聖史

件名: 既存全建総連会館 アスベスト調査

Job ID:21230

JIS A 1481-1 / ISO 22262-1で規定されたアスベスト含有量の表記:「不検出」「微量に検出」「0.1%超-5%以下」「5%超-50%以下」「50%超-100%」。
「微量に検出※」はアスベストが微量に検出され、非意図的混入が疑われるか、アスベスト含有量が0.1%以下の可能性がある場合。
トレモライト※はトレモライトアスベスト、アクチノライト※はアクチノライトアスベスト、アンソフィライト※はアンソフィライトアスベスト。

試料番号	試料名称	ラボ番号
⑤	2F 会議室 天井 吹付材(パーミックス)	20005431

試料全体中のアスベスト含有量: 不検出

<層別分析詳細>

層番号	層構成 比率	層の外観	アスベストの種類 層におけるアスベスト含有量範囲(目視評価による参考アスベスト含有量)
(裏側/躯体側)			
1	60%	ベージュ 非繊維状 素材	不検出
2	40%	オフホワイト 非繊維状 素材	不検出
(表側)			

前処理法: ほぐし, 灰化
非アスベスト繊維成分:

試料採取日: 2024年10月28日

建材中のアスベスト定性分析 層別詳細結果
(JIS A1481-1 / ISO 22262-1 偏光顕微鏡による定性分析法)

全国建設労働組合総連合 御中

レポート番号: B201210 -v2
サンプル到着日: 2024年10月28日
サンプル分析日: 2024年10月30日
分析結果報告日: 2024年10月31日
一次分析者: 五島真由子
分析調査者: 宮川聖史

件名: 既存全建総連会館 アスベスト調査

Job ID:21230

JIS A 1481-1 / ISO 22262-1で規定されたアスベスト含有量の表記:「不検出」「微量に検出」「0.1%超-5%以下」「5%超-50%以下」「50%超-100%」。
「微量に検出※」はアスベストが微量に検出され、非意図的混入が疑われるか、アスベスト含有量が0.1%以下の可能性がある場合。
トリモライト※はトリモライトアスベスト、アクチノライト※はアクチノライトアスベスト、アンソフィライト※はアンソフィライトアスベスト。

試料番号	試料名称	ラボ番号
⑥	1F 事務室 床材(Vタイル)	20005432

試料全体中のアスベスト含有量: クリソタイル 0.1%超-5%以下

<層別分析詳細>

層番号	層構成 比率	層の外観	アスベストの種類 層におけるアスベスト含有量範囲(目視評価による参考アスベスト含有量)
(裏側/躯体側)			
1	3%	グレー セメント質 素材	不検出
2	3%	ベージュ 接着樹脂	不検出
3	94%	ベージュ 非繊維状 素材	クリソタイル 0.1%超5%以下(1%)

(表側)

前処理法: ほぐし, すりつぶし
非アスベスト繊維成分:

試料採取日: 2024年10月28日

建材中のアスベスト定性分析 層別詳細結果
(JIS A1481-1 / ISO 22262-1 偏光顕微鏡による定性分析法)

全国建設労働組合総連合 御中

レポート番号: B201210 -v2
サンプル到着日: 2024年10月28日
サンプル分析日: 2024年10月30日
分析結果報告日: 2024年10月31日
一次分析者: 五島真由子
分析調査者: 宮川聖史

件名: 既存全建総連会館 アスベスト調査

Job ID:21230

JIS A 1481-1 / ISO 22262-1で規定されたアスベスト含有量の表記:「不検出」「微量に検出」「0.1%超-5%以下」「5%超-50%以下」「50%超-100%」。
「微量に検出※」はアスベストが微量に検出され、非意図的混入が疑われるか、アスベスト含有量が0.1%以下の可能性がある場合。
トレモライト※はトレモライトアスベスト、アクチノライト※はアクチノライトアスベスト、アンソフィライト※はアンソフィライトアスベスト。

試料番号	試料名称	ラボ番号
⑦	1F 事務室 天井材(岩綿吸音板)	20005433

試料全体中のアスベスト含有量: 不検出

<層別分析詳細>

層番号	層構成 比率	層の外観	アスベストの種類 層におけるアスベスト含有量範囲(目視評価による参考アスベスト含有量)
(裏側/躯体側)			
1	95%	オフホワイト ロックウール吸音板	不検出
2	5%	オフホワイト 塗料	不検出
(表側)			

前処理法: ほぐし, 溶解

非アスベスト繊維成分: セルロース, 人造鉱物繊維(非晶質)

試料採取日: 2024年10月28日

建材中のアスベスト定性分析 層別詳細結果
(JIS A1481-1 / ISO 22262-1 偏光顕微鏡による定性分析法)

全国建設労働組合総連合 御中

レポート番号: B201210 -v2
サンプル到着日: 2024年10月28日
サンプル分析日: 2024年10月30日
分析結果報告日: 2024年10月31日
一次分析者: 五島真由子
分析調査者: 宮川聖史

件名: 既存全建総連会館 アスベスト調査

Job ID:21230

JIS A 1481-1 / ISO 22262-1で規定されたアスベスト含有量の表記:「不検出」「微量に検出」「0.1%超-5%以下」「5%超-50%以下」「50%超-100%」。
「微量に検出※」はアスベストが微量に検出され、非意図的混入が疑われるか、アスベスト含有量が0.1%以下の可能性がある場合。
トレモライト※はトレモライトアスベスト、アクチノライト※はアクチノライトアスベスト、アンソフィライト※はアンソフィライトアスベスト。

試料番号	試料名称	ラボ番号
⑧	1F 廊下 ソフト巾木	20005434

試料全体中のアスベスト含有量: 不検出

<層別分析詳細>

層番号	層構成 比率	層の外観	アスベストの種類 層におけるアスベスト含有量範囲(目視評価による参考アスベスト含有量)
(裏側/躯体側)			
1	1%	白 非繊維状 素材	不検出
2	2%	オフホワイト 塗料	不検出
3	3%	黄褐色 接着樹脂	不検出
4	94%	濃い 茶 非繊維状 素材	不検出
(表側)			

前処理法: ほぐし, すりつぶし
非アスベスト繊維成分:

試料採取日: 2024年10月28日

建材中のアスベスト定性分析 層別詳細結果
(JIS A1481-1 / ISO 22262-1 偏光顕微鏡による定性分析法)

全国建設労働組合総連合 御中

レポート番号: B201210 -v2
サンプル到着日: 2024年10月28日
サンプル分析日: 2024年10月30日
分析結果報告日: 2024年10月31日
一次分析者: 五島真由子
分析調査者: 宮川聖史

件名: 既存全建総連会館 アスベスト調査

Job ID:21230

JIS A 1481-1 / ISO 22262-1で規定されたアスベスト含有量の表記:「不検出」「微量に検出」「0.1%超-5%以下」「5%超-50%以下」「50%超-100%」。
「微量に検出※」はアスベストが微量に検出され、非意図的混入が疑われるか、アスベスト含有量が0.1%以下の可能性がある場合。
トレモライト※はトレモライトアスベスト、アクチノライト※はアクチノライトアスベスト、アンソフィライト※はアンソフィライトアスベスト。

試料番号	試料名称	ラボ番号
⑨	1F 廊下 内壁 仕上塗装材(プラスター白)	20005435

試料全体中のアスベスト含有量: クリソタイル 0.1%超-5%以下

<層別分析詳細>

層番号	層構成 比率	層の外観	アスベストの種類 層におけるアスベスト含有量範囲(目視評価による参考アスベスト含有量)
(裏側/躯体側)			
1	40%	グレー セメント質 素材	クリソタイル 0.1%超5%以下(2%)
2	60%	多層 塗料	不検出
(表側)			

前処理法: ほぐし, すりつぶし
非アスベスト繊維成分:

試料採取日: 2024年10月28日

建材中のアスベスト定性分析 層別詳細結果
(JIS A1481-1 / ISO 22262-1 偏光顕微鏡による定性分析法)

全国建設労働組合総連合 御中

レポート番号: B201210 -v2
サンプル到着日: 2024年10月28日
サンプル分析日: 2024年10月30日
分析結果報告日: 2024年10月31日
一次分析者: 五島真由子
分析調査者: 宮川聖史

件名: 既存全建総連会館 アスベスト調査

Job ID:21230

JIS A 1481-1 / ISO 22262-1で規定されたアスベスト含有量の表記:「不検出」「微量に検出」「0.1%超-5%以下」「5%超-50%以下」「50%超-100%」。
「微量に検出*」はアスベストが微量に検出され、非意図的混入が疑われるか、アスベスト含有量が0.1%以下の可能性がある場合。
トモライト*はトモライトアスベスト、アクチノライト*はアクチノライトアスベスト、アンソフィライト*はアンソフィライトアスベスト。

試料番号	試料名称	ラボ番号
⑩	1F 玄関 内壁 仕上塗装材(白セメント)	20005436

試料全体中のアスベスト含有量: 不検出

<層別分析詳細>

層番号	層構成 比率	層の外観	アスベストの種類 層におけるアスベスト含有量範囲(目視評価による参考アスベスト含有量)
(裏側/躯体側)			
1	30%	グレー セメント質 素材	不検出
2	60%	オフホワイト 非繊維状 素材	不検出
3	10%	ベージュ 塗料	不検出

(表側)

前処理法: ほぐし, 溶解, すりつぶし
非アスベスト繊維成分:

試料採取日: 2024年10月28日

建材中のアスベスト定性分析 層別詳細結果
(JIS A1481-1 / ISO 22262-1 偏光顕微鏡による定性分析法)

全国建設労働組合総連合 御中

レポート番号: B201210 -v2
サンプル到着日: 2024年10月28日
サンプル分析日: 2024年10月30日
分析結果報告日: 2024年10月31日
一次分析者: 五島真由子
分析調査者: 宮川聖史

件名: 既存全建総連会館 アスベスト調査

Job ID:21230

JIS A 1481-1 / ISO 22262-1で規定されたアスベスト含有量の表記:「不検出」「微量に検出」「0.1%超-5%以下」「5%超-50%以下」「50%超-100%」。
「微量に検出※」はアスベストが微量に検出され、非意図的混入が疑われるか、アスベスト含有量が0.1%以下の可能性がある場合。
トモライト※はトモライトアスベスト、アクチノライト※はアクチノライトアスベスト、アンソフィライト※はアンソフィライトアスベスト。

試料番号	試料名称	ラボ番号
⑪	階段室 床 長尺シート	20005437

試料全体中のアスベスト含有量: クリソタイル 0.1%超-5%以下

<層別分析詳細>

層番号	層構成 比率	層の外観	アスベストの種類 層におけるアスベスト含有量範囲(目視評価による参考アスベスト含有量)
(裏側/躯体側)			
1	1%	薄い グレー セメント質 素材	不検出
2	5%	黄褐色 接着樹脂	不検出
3	20%	ベージュ 半繊維状 素材	クリソタイル 5%超50%以下(7%)
4	64%	オフホワイト 発泡材	不検出
5	10%	ベージュ 非繊維状 素材	不検出

(表側)

前処理法: ほぐし, すりつぶし

非アスベスト繊維成分: セルロース, 人造鉱物繊維(非晶質)

試料採取日: 2024年10月28日

建材中のアスベスト定性分析 層別詳細結果
(JIS A1481-1 / ISO 22262-1 偏光顕微鏡による定性分析法)

全国建設労働組合総連合 御中

レポート番号: B201210 -v2
サンプル到着日: 2024年10月28日
サンプル分析日: 2024年10月30日
分析結果報告日: 2024年10月31日
一次分析者: 五島真由子
分析調査者: 宮川聖史

件名: 既存全建総連会館 アスベスト調査

Job ID:21230

JIS A 1481-1 / ISO 22262-1で規定されたアスベスト含有量の表記:「不検出」「微量に検出」「0.1%超-5%以下」「5%超-50%以下」「50%超-100%」。
「微量に検出※」はアスベストが微量に検出され、非意図的混入が疑われるか、アスベスト含有量が0.1%以下の可能性がある場合。
トレモライト※はトレモライトアスベスト、アクチノライト※はアクチノライトアスベスト、アンソフィライト※はアンソフィライトアスベスト。

試料番号	試料名称	ラボ番号
⑫	外壁仕上塗装材	20005438

試料全体中のアスベスト含有量: 不検出

<層別分析詳細>

層番号	層構成 比率	層の外観	アスベストの種類 層におけるアスベスト含有量範囲(目視評価による参考アスベスト含有量)
(裏側/躯体側)			
1	7%	グレー セメント質 素材	不検出
2	10%	オフホワイト 塗料	不検出
3	70%	オフホワイト 非繊維状 素材	不検出
4	5%	ベージュ 塗料	不検出
5	3%	オフホワイト 非繊維状 素材	不検出
6	5%	ベージュ 塗料	不検出
(表側)			

前処理法: ほぐし, 溶解, すりつぶし
非アスベスト繊維成分:

試料採取日: 2024年10月28日

建材中のアスベスト定性分析 層別詳細結果
(JIS A1481-1 / ISO 22262-1 偏光顕微鏡による定性分析法)

全国建設労働組合総連合 御中

レポート番号: B201210 -v2
サンプル到着日: 2024年10月28日
分析結果報告日: 2024年10月31日
分析調査者: 宮川聖史

件名: 既存全建総連会館 アスベスト調査

Job ID:21230

Ayaka Ozawa

ラボ管理者 小沢 絢子

EFAラボラトリーズの許可なしに、分析レポートの一部を複製することはお断りさせていただきます。分析結果は検査された試料のみについてのものです。全てのサンプルはJIS A1481-1(定性分析)に準拠して分析を行いました。本分析法は、日本国内で規制対象のアスベスト6種類(クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、アンソフィライトアスベスト、トレモライトアスベスト、アクチノライトアスベスト)及び現在日本では規制対象となっていないウィンチャイト・リヒテライトアスベストの検出が可能です。本分析法の検出下限値は、0.1%を下回ります。本報告書中のアスベスト含有量は、JIS A1481-1で規定されている目視評価による含有量の範囲を示しています。また、試料全体中のアスベスト含有量の範囲は、各層中の括弧内のアスベスト含有量の値に基づいています。「微量に検出」、「0.1%超5%以下」は定性分析法による評価の結果であり、これらの判定になったサンプルについて詳細な含有量を求める場合はJIS A 1481-4(定量分析)に定められた重量濃縮・ポイントカウント法または透過型電子顕微鏡による定量を行います。

EFA ラボラトリーズで実施している JIS A 1481-1: 2016 及び JIS A 1481-4: 2016 による建材等のアスベスト分析方法の概要を定性分析と定量分析に分けて示します。

1. 定性分析

分析規格名称

JIS A 1481-1: 2016 – 建材製品中のアスベスト含有率測定方法 – 第 1 部：市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法（以下“JIS A 1481-1”と略記）

分析概要

JIS A 1481-1 は、国際標準化機構で定められた建材等の市販バルク材（商業製品）のアスベスト分析法（ISO 22262-1）を翻訳して策定された分析方法です。通常の建材の分析では偏光顕微鏡分析法が中心となりますが、光学顕微鏡では同定が難しい非常に細かいアスベストを含有している場合や、タルク等の天然鉱物の不純物として光学顕微鏡では検出できない微細なアスベストが含まれる可能性がある場合は、透過型または走査型電子顕微鏡による分析が必要となります。JIS A 1481-1 は、6 種類のアスベスト（クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライトアスベスト、アクチノライトアスベスト、アンソフィライトアスベスト）に加え、リビー産バーミキュライト中に不純物として含まれるウィンチャイト/リヒテライトアスベスト^{※1}を分析対象としています。JIS A 1481-1 に規定された適切な前処理を行うことで検出下限値は十分に 0.1% を下回ります。

① 肉眼及び実体顕微鏡による観察

試料全体を観察し、素材の種類・構成や肉眼で見える繊維の有無を確認します。繊維の観察を容易にするために必要に応じて灰化、酸処理、沈降・浮遊の前処理を行い、検出下限値を下げます。実体顕微鏡で詳細観察し、繊維の種類を確認し、記録します。

② 偏光顕微鏡によるアスベストの確定

①で確認された繊維に合わせた適切な浸液を用いて偏光顕微鏡用のプレパラートを作製します。試料が複数の層から構成されている場合は、層毎にプレパラートを作製します。偏光顕微鏡を用いて確認された繊維を、光学的な特性である伸長の符号、消光角、分散色、多色性及び繊維の形状からアスベストであるかどうかを確定し、記録します。

③ アスベスト含有量の判定

①,②よりアスベスト繊維が確認されない場合は JIS A 1481-1 に定められた「不検出」と表記し、日本のアスベスト含有の定義である重量 0.1% 基準^{※2}では、「非アスベスト製品」に該当します。一方、アスベスト繊維が確認された場合、JIS A 1481-1 に規定された目視評価によりアスベスト含有量を「微量に検出」、「0.1% 超 5% 以下」、「5% 超 50% 以下」、「50% 超から 100%」と判定しますが、市販のアスベスト（クリソタイル、アモサイト、クロシドライトまたはアンソフィライトアスベスト）のうち一つが、単独または複合的に検出される場合、0.1% を超えてアスベストを含有していると見なします。

なお、自然発生的なアスベスト繊維の混入が疑われる場合、または 2 種類以上から構成される複層建材のわずかな一部からアスベスト繊維が確認された場合「微量に検出」と判定されます。この試料について、より詳細な含有量分析が必要な場合は「2. 定量分析」によって定量分析を実施することができます。

④ レポートに表記される層情報

目視推定により建材の表裏を推測し、最深層または裏側の層が、層番号 1（レポートの一番上）に、最表層側が、レポートの下方に表示されます。

^{※1} アクチノライトアスベストとウィンチャイト/リヒテライトアスベストは光学的特性等が近似しており、偏光顕微鏡では区別できないため、偏光顕微鏡のみでの分析では「アクチノライトアスベスト」として表記します。完全に特定する必要がある場合は、別途、分析電子顕微鏡による分析を実施します。

^{※2} 平成 18 年 8 月 2 日政令第 257 号：労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令に基づきます。

2. 定量分析

分析規格名称

JIS A 1481-4: 2016 ー建材製品中のアスベスト含有率測定方法ー第4部：質量法および顕微鏡法によるアスベストの定量分析方法（以下“JIS A 1481-4”と略記）

分析概要

JIS A 1481-4 は、国際標準化機構で定められたアスベスト定量分析法(ISO 22262-2)を翻訳して策定された分析方法です。JIS A 1481-1 の目視評価によりアスベストの存在が確認され、より詳細な含有量分析が必要な場合、JIS A 1481-4 に基づき、重量濃縮法とポイントカウント法を組み合わせることで試料中のアスベスト含有量を定量します。ISO 定量分析法では、各国の規制基準に合わせて以下の表に示すケースで定量分析を推奨しています。日本の規制基準重量 0.1%超の場合、定量分析の対象は主に JIS A 1481-1 の表記区分で「0.1%超 5%以下」または「微量に検出」で、商業利用されたアスベスト（クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、及びアンソフィライト）以外の種類のアスベストが確認された試料になります。

含有物の種類	規制基準			
	1本でも含有 (英国)	重量 0.1%超 (日本)	重量 0.5%超 (カナダ)	重量 1%超 (加州を除く米国)
商業的に 製造された物※3	商業製品に何らかのアスベストが確認された場合、さらなる定量分析は要求されない		5%以下でアスベストが含有していると目視評価された場合、基準超過を正確に判定するためには定量分析が必要である	
その他の物※4	商業製品に何らかのアスベストが確認された場合、さらなる定量分析は要求されない	5%以下でアスベストが含有していると目視評価された場合、基準超過を正確に判定するためには定量分析が必要である		

※3 クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、アンソフィライトアスベストを含む製品。

※4 トレモライトアスベスト、アクチノライトアスベスト、ウィンチャイト/リヒテライトアスベストを含んだもの。

JIS A 1481-4 は記載された偏光顕微鏡、走査型または透過型電子顕微鏡による適切な重量濃縮及びポイントカウントを行い、アスベスト含有量を 95%信頼区間で定量します。

① 重量濃縮法（ステップ 1ー 灰化处理）

試料から全体を代表する部分を分取して秤量した後、450℃で 8 時間灰化处理を行います。灰化後、再度秤量して試料中の有機物の割合を確定します。

② 重量濃縮法（ステップ 2ー 塩酸処理）

灰化处理後の残渣は塩酸を用いて酸処理し、沈殿物（粗大な粒子）、懸濁物、浮遊物（水面に浮くもの）に分離してそれぞれを乾燥後、実体顕微鏡で確認します。大きなアスベスト繊維束があれば秤量済みの容器に移し、沈殿物、懸濁物、浮遊物、アスベスト繊維束をそれぞれ秤量します。

③ 偏光顕微鏡によるポイントカウント法

重量濃縮後の懸濁物について偏光顕微鏡によるポイントカウントを行います。ポイントカウント法では、偏光顕微鏡の観察視野をランダムに移動させ、視野の十字線の直下にあるアスベスト繊維とそれ以外の繊維、粒子等をカウントします。カウントは総ポイント数が 13,000×懸濁物の割合になるまで（例：重量濃縮後の懸濁物の重量パーセントが 60%の場合、13,000×0.6=7,800 ポイント）、またはアスベスト繊維が 20 ポイントに達するまで行います。また、カウントは最低でも総ポイントが 100 ポイントに達するまで行います。

これらのポイントカウントによって得られた値から以下の数式によりアスベスト含有量を求めます。

C = アスベスト含有量 (%)

W = 試料の初期重量 (g)

R = 残渣の重量 (g)

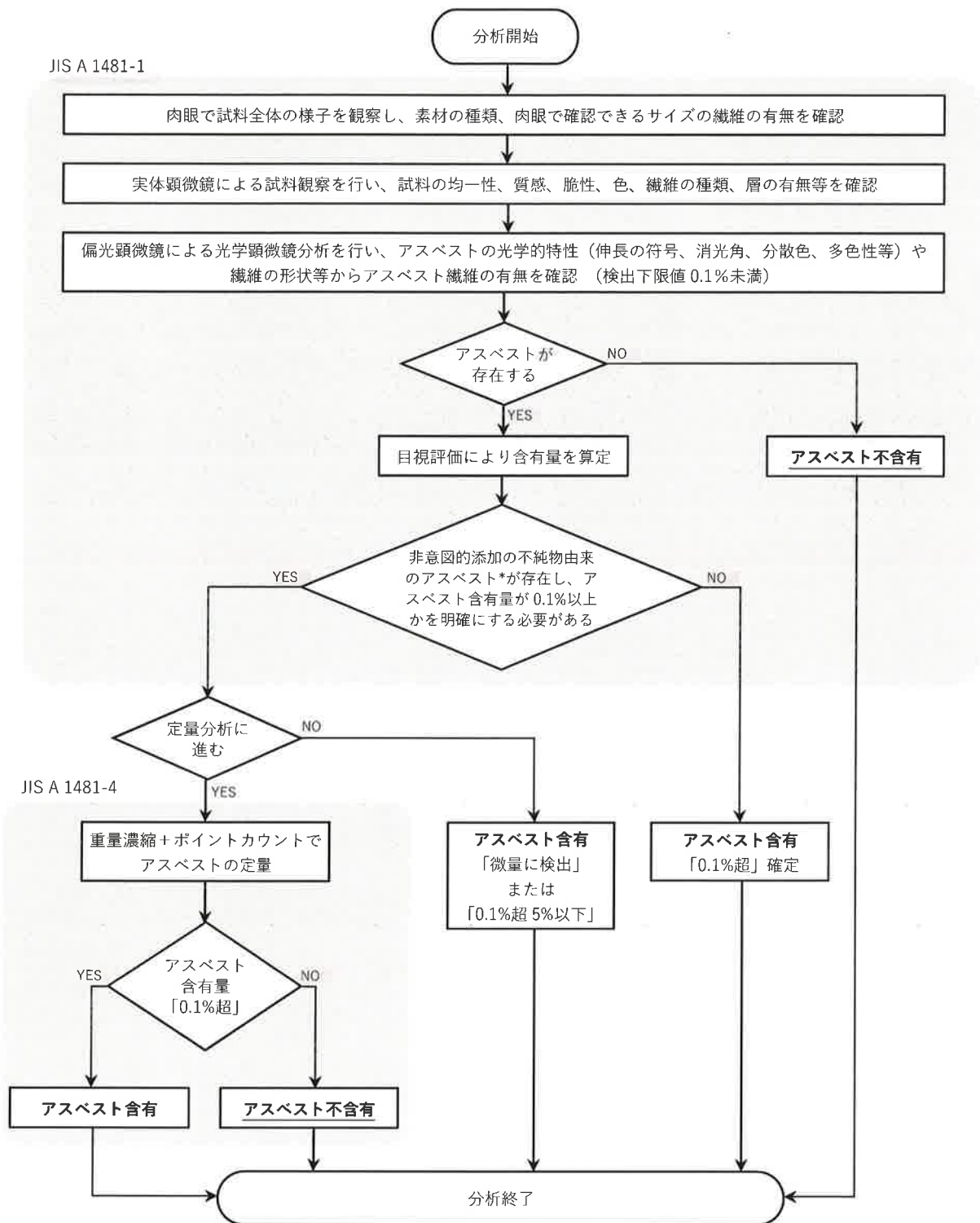
A = アスベストポイント数

N = 全ポイント数

$$C = \frac{100}{W} \left(R \times \frac{A}{N} \right)$$

EFA ラボラトリーズのアスベスト分析フロー*

*通常の建材分析フローであり、実際の分析フローは要望等により変わることがあります。



*非意図的添加の不純物由来のアスベスト：工業的に意図的添加されたアスベスト以外の種類のこと。トレモライトアスベスト、アクチノライトアスベスト及びウィンチャント/リヒテライトアスベスト。

品質保証・品質管理

EFA ラボラトリーズは、アスベスト建材の偏光顕微鏡分析に関して、ISO/IEC 17025 の試験所認定を受けています。ISO/IEC 17025 は「試験所及び校正能力に関する一般要求事項」の国際標準規格であり、ISO 9001 に相当する品質マネジメントシステムのほか、試験所・校正能力に関する技術的要求事項が含まれます。

EFA ラボラトリーズは、ISO/IEC 17025 の認定プログラム(NVLAP)に基づき高精度で包括的な品質保証／品質管理 (QA/QC)のプログラムに準拠して分析業務を行います。このプログラムは、ラボ分析・パフォーマンス・報告書発行・サンプル授受・保管・処理等の品質を監視するものです。

以下は ISO/IEC 17025 の認定プログラム(NVLAP)で要求され、EFA ラボラトリーズで実施している主な QA/QC の内容です。

- 建材サンプルは全て二人の分析者によるクロスチェックを実施
- 上記クロスチェックの他、全建材サンプルの 10%に対し実施する再確認分析
- 月一回、アスベスト含有量未知試料を用いての分析精度試験
- 複数ラボが参加してアスベスト含有量未知試料の分析を行う回覧プログラムの実施
- 試料間のコンタミネーション防止のための各種措置
- 社内品質管理責任者による品質保証プログラムの実施状況のモニタリング
- NVLAP 監査人による定期的な QA/QC 監査

その他 EFA ラボラトリーズでは、「不検出と判定された試料は全て再分析して不検出を確定する」というさらに厳しい EFA ラボラトリーズ独自の QA/QC プログラムを実施しています。

株式会社 EFA ラボラトリーズ

作業環境測定機関（登録番号 13-93）
ISO/IEC 17025 試験所認定取得
一般社団法人 日本環境測定分析協会 正会員

分析調査者の資格

小沢 絢子

一般社団法人 日本環境測定分析協会 建材中のアスベスト定性分析技能試験（技術者対象）合格者
一般社団法人 日本環境測定分析協会 アスベスト分析法委員会認定 JEMCA インストラクター
（登録番号 10011）
公益社団法人日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 評価区分 1 合格（2409 合 0085）

宮川 聖史

一般社団法人 日本環境測定分析協会 建材中のアスベスト定性分析技能試験（技術者対象）合格者
（登録番号 10144）
公益社団法人日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 評価区分 1 合格（2409 合 0086）

五島 真由子

一般社団法人 日本環境測定分析協会 建材中のアスベスト定性分析技能試験（技術者対象）合格者
（登録番号 10181）
公益社団法人日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 評価区分 1 合格（2409 合 0087）

吉木 大知

一般社団法人 日本環境測定分析協会 建材中のアスベスト定性分析技能試験（技術者対象）合格者
（登録番号 10182）
公益社団法人日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 評価区分 1 合格（2409 合 0089）

遠藤 香弥

一般社団法人 日本環境測定分析協会 建材中のアスベスト定性分析技能試験（技術者対象）合格者
（登録番号 10321）
公益社団法人日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 評価区分 1 合格（2409 合 0090）

3.採取写真



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取箇所
 調査地点：RF 屋上
 NO.1



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取前
 調査地点：RF 屋上
 NO.1



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取完了
 調査地点：RF 屋上
 NO.1



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取箇所
 調査地点：4F ボイラー機械室煙突
 NO.2



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取前
 調査地点：4F ボイラー機械室煙突
 NO.2



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取完了
 調査地点：4F ボイラー機械室煙突
 NO.2



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
撮影日：2024年10月28日
採取状況：採取箇所
調査地点：4F 電気室（天井）
NO.3



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
撮影日：2024年10月28日
採取状況：採取前
調査地点：4F 電気室（天井）
NO.3



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
撮影日：2024年10月28日
採取状況：採取完了
調査地点：4F 電気室（天井）
NO.3



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取箇所
 調査地点：2F 廊下（内壁）
 NO.4



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取前
 調査地点：2F 廊下（内壁）
 NO.4



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取完了
 調査地点：2F 廊下（内壁）
 NO.4



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取箇所
 調査地点：2F 会議室（天井）
 NO.5



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取前
 調査地点：2F 会議室（天井）
 NO.5



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取完了
 調査地点：2F 会議室（天井）
 NO.5



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取箇所
 調査地点：1F 事務室（床）
 NO.6



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取前
 調査地点：1F 事務室（床）
 NO.6



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取完了
 調査地点：1F 事務室（床）
 NO.6



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取箇所
 調査地点：1F 事務室（天井）
 NO.7



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取前
 調査地点：1F 廊下（天井）
 NO.7



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取完了
 調査地点：1F 廊下（天井）
 NO.7



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取箇所
 調査地点：1F 廊下（巾木）
 NO.8



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取前
 調査地点：1F 廊下（巾木）
 NO.8



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取完了
 調査地点：1F 廊下（巾木）
 NO.8



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取箇所
 調査地点：1F 廊下（内壁）
 NO.9



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取前
 調査地点：1F 玄関（内壁）
 NO.9



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取完了
 調査地点：1F 玄関（内壁）
 NO.9

※失念の為写真無し



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取箇所
 調査地点：1F 玄関（内壁）
 NO.10



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取前
 調査地点：1F 玄関（内壁）
 NO.10



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取完了
 調査地点：1F 玄関（内壁）
 NO.10



工事 件名	既存全建総連会館 アスベスト調査
場所	東京都港区高島町2丁目1-10
階段室 床 長尺シート	
0111 令和6年10月28日	

件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取箇所
 調査地点：階段室（床）
 NO.11



工事 件名	既存全建総連会館 アスベスト調査
場所	東京都港区高島町2丁目1-10
階段室 床 長尺シート	
0111 令和6年10月28日	

件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取前
 調査地点：階段室（床）
 NO.11



工事 件名	既存全建総連会館 アスベスト調査
場所	東京都港区高島町2丁目1-10
階段室 床 長尺シート	
0111 令和6年10月28日	

件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取完了
 調査地点：階段室（床）
 NO.11



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取箇所
 調査地点：外壁
 NO.12



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取前
 調査地点：外壁
 NO.12



件名：既存全建総連会館 アスベスト調査
 撮影日：2024年10月28日
 採取状況：採取完了
 調査地点：外壁
 NO.12

4.資格証

建築物石綿含有建材調査者講習終了証明書

建築物石綿含有建材調査者講習修了証明書	
飯高 俊文	1985年5月5日生
証明書番号 神奈川1 第12091053号	
修了年月日 2021年9月1日	
□ 一般建築物石綿含有建材調査者	
□ 特定建築物石綿含有建材調査者	
建築物石綿含有建材調査者講習修了証(平成30年厚生労働省・国土交通省・環境省告示第1号)第2条第2款若しくは第3項の建築物石綿含有建材調査者講習を修了したことを証する。	
2021年9月1日	一般財団法人日本環境衛生センター 理事長 南川 秀樹